



落合 康之 議員

教育推進について

問 ①中学生の英検受験料の補助について、近隣市町村の状況はどうか。また、古河市は同様に補助を行う考えはあるか。

②県内では水戸、龍ヶ崎、日立、つくば・土浦、常総、鹿島、取手に英検の本会場が設けられているが、県内5番目の人口を誇る古河市に本会場を誘致する考えはあるか。

③本会場と準会場の違いについて説明いただきたい。また、

本会場を古河市に誘致するメリットは大きい。教育推進都市古河を目指す考えはあるか。



答 (教育長) ①県内44市町村で補助を出しているのは7つである。古河市でも出せるように前向きに検討している。

②十分検討した上で答えを導きたい。

③準会場は金・土・日曜日、本会場は日曜日のみ実施できる。また、準会場は本会場よりも受験料が1,000円安い。英語検定

が古河市で受験できれば、教育推進都市古河のPRにつながる。検討を重ねていきたい。

(再質問) 準会場では2級までしか受けられない。古河市だけでなく近隣の人も古河市で受験できればメリットも大きくなると思うがどうか。

答 (市長) 人を呼び込む上からも、優先順位の高い施策であるので、なるべく早く実行できるよう検証、検討していきたい。

《その他の質問》

- ・自治組織への補助金等の見直しについて
- ・副市長就任2カ月が経過して



長浜 音一 議員

英語・ICT・STEM教育および教員の勤務実態について

問 小中学校教育において、英語特区の指定を受けた英語教育推進事業、ICT環境の整備、さらに新しい教育の在り方として、STEM教育^(※)の取り組みが必要である。一方で、教員の労働環境は非常に厳しい。そこで、①英語②ICT③STEM教育の取り組みについて④教員の労働環境の改善策について伺う。

答 (教育長) ④中学校免許を持

つ方に小学校の臨時免許証を発行する等の措置を行った。市では部活動の練習時間縮減など、他地区に先駆けて実施している。



ロボットプログラミング教室

答 (教育部長) ①昨年度からイングリッシュキャンプを開催している。今後は英語で積極的にコミュニケーションができる子どもたちの育成に努めたい。②ICT機器は現在5人に対し1台の割合である。古河市教育振興基本計画で掲げる3.6人に対し1台の目標を達成できるよう

努めたい。③大和田小学校等のプログラミング教育に関する研究を市内の小中学校で共有し、指導助言していきたい。

ネットワークを活用した会議で業務改善を

問 現在、各庁舎での会議や議会等は、職員の車移動により開かれているが、職員の負担軽減や業務効率を考慮すれば、ネットワークを活用した会議の早期導入が求められるが執行部の見解を伺う。

答 (総務部長) 定例会中は関係課長等が全員協議会室において議会中継を傍聴し、議会対応している。事務効率化のためにも3月議会までには費用面も含め、適切な議会対応を考えたい。

※STEM教育…科学・技術・工学・数学の教育分野を総称する語。